

人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 日本フィルハーモニー交響楽団

初登場
リープライヒによる
「古典・ロマン・現代」



指揮：アレクサンダー・リープライヒ
Conductor: Alexander LIEBREICH

©Sammy Hart

第708回
東京定期演奏会

2019 **FRI**
3月 15日
18:20 開場 / 19:00 開演

SAT
3月 16日
13:30 開場 / 14:00 開演
7:00p.m. March 15th (Fri.) &
2:00p.m. 16th (Sat.), 2019, at Suntory Hall

サントリーホール

プレトーク
本日の聴きどころ

土曜日：13:10
(プレトーク開場13:00)

ロッシーニ：歌劇《泥棒かささぎ》序曲

Gioacchino ROSSINI: "La gazza ladra" Overture

ルトスワフスキ：交響曲第3番

Witold LUTOSŁAWSKI: Symphony No.3

ベートーヴェン：交響曲第8番 へ長調 op.93

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.8 in F-major, op.93

料金 (消費税込み)	好評発売中	お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター	託児サービス (事前申込制・有料)
S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500 <small>※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※出演者、曲目等に変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。 ※車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムースなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。</small>		[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) [FAX] 03-5378-6161 (24時間) 日本フィルeチケット♪ www.japanphil.or.jp (席を選んでお申込みできます) ▶ チケットぴあ … (0570) 02-9999 http://pia.jp/t/japanphil Pコード:120-364 ▶ e+【イープラス】 … http://eplus.jp/ ▶ ローソンチケット … (0570) 000-407 (オペレーター) http://l-tike.com Lコード:32310 ▶ サントリーホールチケットセンター … 0570-55-0017	イベント託児® マザーズ TEL 0120-788-222 (平日10:00 - 17:00)

主催 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協賛 鹿島建設株式会社 昭和シェル石油株式会社 株式会社ティエーガイア

フジテレビジョン 三井不動産株式会社 株式会社リョーサン パイオニア株式会社

特別協賛 MUFG 三菱UFJニコス株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会



初登場 リープライヒによる 「古典・ロマン・現代」

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
708th
SUBSCRIPTION
CONCERTS

ドイツ出身の名指揮者アレクサンダー・リープライヒ。日本フィル初登場となる今回は、リープライヒを深く知るべく、古典派・ロマン派そして現代の作品を交えたラインナップとなりました。序曲集のCD録音も行うほど得意とするロッシーニに始まり、ベートーヴェンの《運命》交響曲を想起させる「ダダダッ!」のリズムが全曲を支配するルトスワフスキの交響曲第3番が真ん中に置かれます。リープライヒはポーランド国立放送交響楽団の首席指揮者および芸術監督を務めた経験もあり、この国の20世紀を代表する大作曲家ルトスワフスキは彼の重要なレパートリーになっています。後半はベートーヴェンの8番シンフォニーを並べました。ルトスワフスキ作品とのつながりを考えれば5番《運命》でも良かったのですが、そこは少し捻って、演奏機会の少ない、でも隠れた傑作8番をお聴きいただきます。

東京定期土曜限定プレトーク 「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

- 13:00 プレトーク開場
- 13:10 プレトーク開始 / 下田 幸二氏
(1階席1列~14列でお聞きください)
- 13:25 プレトーク終了
- 13:30 一般開場
- 14:00 開演

アレクサンダー・リープライヒ 指揮

Alexander LIEBREICH



©Sammy Hart

2012年秋よりポーランド国立放送交響楽団の首席指揮者兼芸術監督を務め、ヨーロッパ・ツアー、本拠地カトヴィツェの新しいフィルハーモニック・ホールのこけら落とし、Accentusレーベルとのポーランド人作曲家作品のCDレコーディング、カトヴィツェ・カルトゥラ・ナチュラ音楽祭を立ち上げるなど意欲的な活動を展開。2018年にはウォルフガング・サヴァリッシュが立ち上げたリヒャルト・シュトラウス音楽祭の第3代芸術監督に就任、また2018/19年シーズンからプラハ放送交響楽団の首席指揮者にも就任した。

2006年から2016年までミュンヘン室内管弦楽団の芸術監督兼首席指揮者を務め、オーケストラを飛躍的にレベルアップ、ECM、ドイツ・グラモフォン、SONYへのレコーディングは国際的に高い評価を得た。

リープライヒはロイヤル・コンセルトヘボウ管、ベルギー国立管、BBC響、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、シュトゥットガルト放送響、ドレスデン・フィル、ルクセンブルク・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、ブルノ国立フィル、ワルシャワ国立フィル、ベルリン古楽アカデミー等へ客演を重ねており、加えて革新的なプロジェクトもプロデュース、2002年にはユング・ドイチェ・フィルと共に北朝鮮と韓国を訪問、2011年には韓国のトンヨン国際音楽祭の音楽監督にヨーロッパ人として初めて就任、異文化交流を目的とした「イースト・ウェスト・レジデンス・プログラム」を実現、韓国にハイナー・ゲッベルス、ウンスク・チン、マルティン・グルビンガー、細川俊夫、ベアート・フラー等の作曲家を招聘を実現した。

ドイツ、レーゲンスブルク生まれ。ミュンヘン音楽演劇大学とザルツブルク・モーツァルテウムにて学び、クラウディオ・アバドとミハエル・ギーレン両氏の薫陶を受けた。

次回

第709回東京定期演奏会

2019 4.19(金) 18:20 開場 / 19:00 開演 20(土) 13:30 開場 / 14:00 開演 サントリーホール

プログラム

【第6回ヨーロッパ公演記念プログラム】

武満徹：弦楽のためのレクイエム

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37

シベリウス：交響曲第2番 二長調 op.43

料金(消費税込み) 好評発売中

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 売完 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

指揮：ピエタリ・インキネン
[首席指揮者]

ピアノ：
ジョン・リル



©山口 敦

